



大賑わい！ 水道筋さんま祭り

被災地を忘れない、みんなで取り組む支援。それが形になったのが水道筋さんま祭りでした！9月27日（日）、阪急王子公園駅東口南側の青谷川公園をメイン会場に、岩手県大船渡市から運び込まれた1,000尾の旬のさんまが次々に焼き上げられて、周辺には何とも言えない美味しいにおい!! が充満しました。一人当たり2尾という制限にもかかわらず、あっという間にさんまは売り切れになりました。

また当日、6丁目は車両進入禁止の歩行者天国。その場で食べられる方も多くいました。花たばは実行委員団体の一員として、生ビール、お茶、ジュースなどの販売、押し寄せるお客さんへさんま渡し、スタッフの皆さんへのおにぎり係など頑張りました。またほっと花たばも休日返上で開店し、並行して開催の水道筋6丁目フリーマーケットを盛り上げました。

ご協力いただいた皆様、本当にお疲れ様でした。ありがとうございました！

※実行委員会では当日の収益から支援金を大船渡市にお届けする予定です。集約され次第ご報告します。



どうです、このいい焼き具合！



頑張ってるスタッフに食べてもらおう！
せっせとおにぎり握ります！

さんま求めて人、人、人…



大船渡支援・水道筋さんま祭り実行委員会参加団体：水道筋ひだまり商店街、水道筋6丁目商店街、ろっこう医療生活協同組合、こうべ保健サービス、NPO 花たば、神戸土建労働組合、神戸大学震災救援隊、神東社

地域包括ケアって？

ろっこう医療生協が主催

みんなでつながろう

地域包括ケア学習会開催

9月12日（土）、シマブンビルホールで開催された学習会は、高齢期を住み慣れた場所で支え合って暮らしていける環境をどう作るか、介護保険制度が大きく変わる「これから」について勉強しようという場でした。



午前の部は、参加者が各支部単位で地図を広げて「支え合いの資源」マップ作りのグループワーク。午後は新潟県長岡市のながおか医療生協・高橋智憲専務理事から「ながおか医療生協の地域包括ケアは、まちづくり」と題した講演をお聞きしました。ながおか生協が取り組んでいる、高齢者も障害者も子ども達も人間らしく暮らしていけるまちづくり（必要なことは何かを探し、形にしていく）の、様々な事業のお話を聞きながら、改めて生協の役割、個々人が元気な時は支え、必要になれば支えてもらう関係づくりを考えることができました。



皆さんの熱心な話し合いが

続きました。



～ひょうごん福祉ネット勉強会のご案内～

花たばからも
参加します！

日時	会場	内容	講師
2015年10月18日(日) 14:00～16:00	東灘地域助け合い ネットワーク	認知症の方への声掛けと寄り添い方	神戸市認知症介護指導者 小出理津子
2015年11月29日(日) 14:00～16:00	東灘地域助け合い ネットワーク	認知症になっても通える《居場所》	・神戸市生きデイ担当者 ・東灘地域ネットワーク ・まごの手 ・YWCA ・コープこうべ
2016年1月24日(日)	東灘地域ネットワ ーク	認知症になっても活動できる《居場所》づくり	・社協 ・リーフグリーン ・てみずの会 ・福祉ネットワー ク西須磨だんらん ・ふれあいキ ッチンひまわり

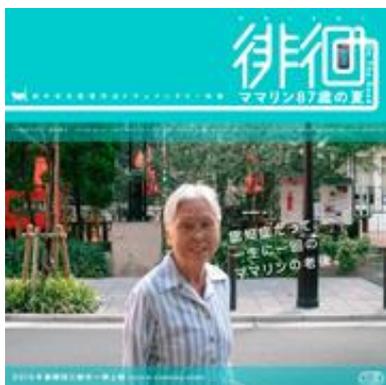
介護をめぐる「これから」

神戸市主催のボランティア講座

お茶処花たばで
受講者を受け入れ

10月6日、13日、20日(各火曜日)、講座受講者の実習施設として、お茶処花たばが委嘱されました。地域でつながるボランティアを目指す皆さんのお役にたてば何よりです。

花たばをご利用の皆さんも、ぜひよろしくお願いします。



この日常に 「徘徊」上映会 地域包括ケアがある

9月6日(日)ひょうごん福祉ネット主催で、映画「徘徊」の上映会がありました。

映画あらすじ■大阪のど真ん中で暮らす母娘。母は認知症。怒鳴りドアを蹴り、飛び出せば徘徊する。娘はギャラリーを経営しながらその母をデイサービスなどを利用しながら共に暮らす。同じマンションの住人、近所の人たちは母娘の葛藤も笑いも日常として、適度のかかわりと距離感で自然に受け入れているように見える■

日常生活のあるがまを切り取った映画でした。上映後、監督(須磨区在住)と映画に登場した娘の章子さんの二人によるトークタイム。現在は、徘徊する体力が減少したと苦笑いしながら「ありのまま」を語ってくれました。抱えていた認知症に対する不安が少し軽くなる、隠すより周囲に知ってもらうことで、ほんの少しでいい、「支え支えられる関係」が出来ればいいなと思える映画でした。地域包括ケアをどう展開するかが課題の今、一つのヒントになる映画でした。

(※大阪シアターセブンでは、10月15日まで上映中)

「徘徊」の映画上映と交流会に参加して (理事長 須見恭子)

9月6日(日)ひょうごん福祉ネット主催の「徘徊」上映会に参加しました。400名定員の会場は、立ち見も出るほど満員でみなさんの関心の強さを実感しました。映画は87歳のママリンこと酒井アサヨさんと娘の章子さんのひと夏の日常生活を切り取ったドキュメンタリー映画です。「徘徊」といえば重い感じを受けますが、この親子の会話の面白さは掛け合い漫才を聞いているようで会場から思わず笑い声が・・・。「6年間で歩いた距離はなんと大阪・東京3往復分。でも認知症だって一生に一回のママリンの老後」と章子さんのとことんお母さんの徘徊に付き合う姿はあっぱれとしか言えません。そこに至るまでの葛藤は大変だったと思いますが、彼女のママリンを思う優しさと開き直りに周りの人も自然に応援してくれて、徘徊も怖くないという思いにしてくれました。

=9月は見学で千客万来=

9月8日医療生協健康クラブ「アップルチョコ班」が来訪

組員集会室で班活動の後、「花たば」を知りたいと訪ねていただきました。NPO 花たば 10年の活動、コミュニティハウス建設から7年のあれこれをお話しした後、建物を見て頂きました。「近くにあるのに今まで知らなかったわ」「いい活動ですね」と感想をいただきました。

9月10日コープこうべが来訪

「コープ暮らしの助けあい」で奉仕会員やコーディネーターとして活動されている皆さん達15人をお迎えました。①事前に要望のあった、花たばの活動の起点となった「デンマークで学んだこと・デンマークの高齢者事情」について、②花たばの日常活動について、映像や資料と合わせて説明。交流タイムでは、次々に質問も出て活発な話し合いになりました。最後に、どちらも生活協同組合。理念を共有できる団体同士であり、地域の資源として互いの人材を認め共有できれば、必要な支援がより広がることを確認し合いました。その後、建物を見学（屋上では感嘆の声！）お茶処でサンドイッチとコーヒーの昼食をとっていただき交流を終えました。



* 花たばネットから *

◆一気に秋です。季節物の入れ替え、エアコンの掃除、庭掃除等々ご依頼も様々。できるだけお応えできるよう、ネットのボランティアさん引き続き募集しています！お問い合わせは、花たば事務所（801-6632）まで。

* お茶処花たばから *

▼コミュニティハウス花たばの屋上で収穫された野菜が大活躍です。夏はきゅうりとなすびが豊作で定食の一品になりました。
▼現在は端境期ですが、これから冬野菜が成長します。お楽しみに！

* ほっと花たばから *

ほっとさん、と呼んでくださる、うれしいです。
●リサイクルご寄附ありがとうございます。秋の深まりに合わせ、お店に並べる品物も入れ替えつつあります。
●重曹、お漬物（鹿児島産）なども入っています。どうぞお立ち寄りください。

* これからの予定 *

ろっこう医療生協文化祭

- 11月7日 都賀川公園
花たばは、喫茶を出店します。
- 12月8日～9日 原田の森ギャラリー作品展
コミュニティハウス花たばで出品

編集後記 朝夕の冷え込みが、秋の深まりを告げています。日没も早くなり、冬支度もそろそろ準備しなければと気忙しくなりますね。今号では、介護保険制度の大幅な見直しが進む中、「地域包括ケア」という考え方で何ができるのか、私たち一人ひとりにとって大事にしたいことはどうなるのか、よくわからないことが沢山あります。花たばでも勉強しながらかわっていきたいと思います。昼夜の寒暖差が大きくなっていきます。風邪に注意！昼間はお茶処や、ほっとさんを覗いて笑っておしゃべり！元気に過ごしましょう。(0)